

「雇用の劣化」を是正し、安定した暮らしの実現を

「子どもに優しい社会を」

岩切たつや

県議会 便り

2016年10月 発行
岩切たつや
住所 宮崎市広島二丁目2-19
ノバハイツ402
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778



安心社会の実現を

若者が宮崎に残つてくれない

9月2日に開会した定例県議会は、一般会計補正予算など11議案を審議。請願4件、意見書10件など23日の本会議で採択し、続いて10月7日までの日程で昨年度決算議案の審議となりました。

地方創生として、人口減少対策が急務となっている中、若者の県外流出をどう食い止めるかなど、活発な議論が行われました。

県内有数の酒造メーカーを視察。商工建設常任委員会



文部科学省発表の資料で、宮崎県では、今年3月高校を新規卒業した若者のうち就職を希望した者で、県内に就職した率が全国最下位という状況でした。この全国最下位が2年連続となったことから、県を挙げて対策が急務だと議会でも多くの議員が取り上げました。

その率は54.4%。全国平均では県内就職率は81%で、宮崎から県外に就職する率は倍以上となります。

県内就職率が高い県は愛知県や石川県、富山県、静岡県などで90%を越えます。

今年3月の卒業生1万583人のうち、県内で就職した1664人。県内の大学や専

門学校等に進学した若者以外は、県外流出という計算になります。

少子化による人口減少のうえ、県内に残ってくれる若者が少ないという状況に対して、地方創生議論が続く今期定例県議会では、危機感を持った意見が多く出されました。

なぜ、県内就職しない？

議員の一人は「宮崎県の都道府県別最低賃金714円は、沖縄とならび全国最下位。」

若者の働く環境改善を

商工建設常任委員会では、県内高校2年生1千人にアンケート調査した結果が報告されました。シヨックなことに『県内で働きたくない』が52.9%という結果。理由の1番は『県外で生活したい』『2番は『県外企業のほうが、給料など条件がよさそう』『次いで『県内には働きたい企業、職種がない』です。

一方、県内就職希望者の

高知県は昨年まで宮崎と一緒に出たため715円にした」という意見。ある議員は「初任給や福利厚生のあるのではないかと。県内企業の協力をもらいながら、あと1万円の初任給アップを実現したら」など意見を述べました。

県は、「保護者、若者ともに大企業志向がある。また都会で暮らしてみたいなど憧れもある。県内企業の魅力を伝えたい。給与条件も大事だが、それ以外の良さも含めて子供たちに伝えたい。」と答弁。

議員から「出生率が向上しても、出生する数は減少した。若者減少が一因。人口対策をもっと真剣に取り組まないといけない。」と対策を強く訴える意見が続きました。

理由の1番は『地元が好きだから』、次いで『自宅から通勤できる』『県外に出るのは不安』ということでした。

都会に憧れるな、というわけにはいかず、なかなか策が思いつきません。また県内に働きたい職種がないということとは、すぐには解決は難しい。

一方、給料などの条件は、なんとかできることもあるのでは。いや、しないといけないと思います。

岩切たつや プロファイル

昭和36年1月 延岡市生まれ
同54年3月 県立延岡高校卒業
同57年4月 宮崎県庁入庁
西臼杵支庁福祉課・延岡保健所・東臼杵福祉事務所・延岡児童相談所・北部福祉こどもセンター・児湯福祉事務所などに勤務
在職期間に県庁職員組合委員長を務める。

その他、延岡市立伊形小PTA会長、宮崎県立延岡工業PTA会長など労働運動、地域活動に取り組み。

同27年4月 宮崎県議会議員選挙(宮崎市選挙区) 初当選現在一期目

家族 妻と子ども
資格 社会福祉士
宮崎県登録養育里親

- ・前厚生常任委員会副委員長
- ・現商工建設常任委員会副委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・社民党県連副代表

若者が残り、家庭を築き、生活できる条件を創ろう



座談会の機会を

ただだけませんか？

県政に対する思いやご意見を皆さまからお聞かせいただく機会があると幸いです。

私の政治活動報告も、どんなにかけていきますのでよろしくお願ひします。

県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。



社会が壊れる音が聞こえる

ヘイトクライム（憎悪犯罪）の発生や、格差社会拡大の中で

社会を覆う空気というか、雰囲気や殺伐としてきたなと感じています。

「弱者が強者に対する復讐心、非難の感情を強く持つ、そんなルサンチマンといわれるような精神風土が広がっている。格差が広がって憎悪がたまる、ネットの書き込みなど直視できない内容もある。私たちが過去に感じていた、人と人の絆にあった美しさがなくなっている。」これは太田清海議員が行った会派代表質問での冒頭発言です。

知事は「格差の固定化は社会

1年生議員の

議会のい・ろ・は

⑥◇陳情活動◇

8月に立て続けに『東九州自動車道建設促進大会』が開催されました。



10日は北九州市小倉駅近くのホテルを会場に、東九州自動車道の日南線など建設促進を求め、鹿兒島各県から知事や議員、関係者が集まって「エイエイオー！」31日に延岡市北方町で『九州中央道建設促進大会』。これには熊本県からもたくさんの方々が参加して、宮崎県側と一緒に「エイエイオー」ってやりました。なかなかできなかった高速道路なので、こんな大会は、ほんとに長い期間続けてきたものだ

にとつてよくない。怒りや憎しみを憂慮する。すべての人が生きがいを持って活躍できる社会を作る。誰も社会の発展を享受し、子どもがチャレンジできる、笑顔のある社会が大事。」と答えました。

人口構造が少子高齢化、人口減少に転じ、経済はなかなか上向きになりません。消費意欲の強い若者達が減少し、その上、非正規雇用の比率が高いことや、たとえ正規雇用であったとしても低賃金で、結婚すらままならない状況にあることが大き

そうです。

そして、商工建設常任委員会

副委員長の私は、上京して地元選出国会議員や、国土交通省、西日本高速道路株式会社に直接伺って、『よろしくお願ひします、どうか早く実現してください。地元ではこんなに人が集まって大会を開きました』と陳情活動をしてまいりました。もちろん、一人ではなく、議会議長と、常任委員長、そして県土整備部長など県の職員とです。

初体験でした。

あちこちと足を運んで宮崎県のためにという本気の行動でした。陳情活動って「効果あるのか」とか思いを持っていただのですが、継続し、積み上げていく努力なのだと感じました。

く影響しているといえます。

高度成長末期、狂乱物価のなかで、労働運動も活発に行われ、大幅賃上げを勝ち取りました。この時代、人と人のつながりが今より豊かな時代、おそらく生活は今より不便なことがあったかもしれないけれど、互いを助け合う気風が職場や地域にあったと思います。

そんな働く者や市民同士が助け合うこと、それを長い時間をかけてズタズタにしてきた政治の流れがあった、その結果が現代ではないでしょうか。

強調される「絆」

自助・互助・共助・公助という表現で、自分のことは自分で守りましよう、社会保障はよ

り小さくしていきますよと、宣言した政治が続いています。理由は財源がないというわけですね。生きることにすべてに自助努力、自己責任と突き放す政治は、冷たい社会をつくることに繋がっていくと思います。

社会保障には財源がないという理屈がとおり、いっぽうで、リニア新幹線や、防衛費の増大には、財源不足という発言は一切聞かなくてこないのは、結局は、時の政権の政治に対する姿勢の問題であって、国民が政治に望んだものではありません。ルサンチマンな精神風土を小さくしていくために、活動に休みはありません。がんばります。



〈9月議会の議案〉

- ◆一般会計補正予算 75億6942万1千円
- ◆条例改正5本、工事請負契約の変更1件
- ◆宮崎県公共施設等総合管理計画の策定報告
- ◆県立看護大学を独立行政法人化する条例など
- ◆教育委員会委員、土地利用審査会委員の任命など
- ◆後期高齢者医療制度の保険料軽減特別措置の継続等を求める意見書提出の請願など4件の請願審査
- ◆教職員定数改善を求める意見書など6本の意見書採択
- ◆平成27年度歳入歳出決算の認定など決算議案5件

〈日常活動スナップ〉



↑ 視察（県立産業技術専門学校）



高千穂町議の富高さんと九州中央道建設促進大会



みやざき創生対策特別委員会 ↑

青島観光の再興を目指します

6月議会で、青島バイパスの環境整備を取り上げました。

問「国道220号の青島バイパス、トンネル前にパーキングエリア。残念ながら、背丈ほどに伸びた草とごみという状況。青島観光における国道220号青島バイパスの役割というものはどのような位置づけなのか」

答「県民はもとより、本県を訪れていたただけの皆様に対するおもてなしの観点からも、国の管理道路だが、沿道美化の推進に努めてまいります。」

問「イペーなど花の群生をつくることか、いろんな工夫を。植物園もリニューアルした。トータル的な観光整備というのが必要だ。」

答「青島観光の発展は、本県観光再生のシンボル。青島観光推進に積極的に取り組んでいく。」

秋になって確認に行きましたがまだまだです。自らの力で観光地をつくる意気込みが必要です。さらに追求していきます。」



